

■試合方法

全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則、および全国高体連剣道専門部・長野県高体連剣道専門部申し合わせ事項により行う。

個人戦 トーナメント戦 4分3本勝負。勝敗が決するまで4分間の延長戦を繰り返す。

団体戦 トーナメント戦 4分3本勝負。延長戦なし。勝者数・取得本数が同じ場合は、代表者戦を行う。

代表者戦は4分1本勝負。勝敗が決しない場合は決するまで4分間の延長戦を繰り返す。

【休息・休憩について】

4分ごとの延長戦を行い、2回終了後に呼吸を整えさせる為の休息を立礼の位置で行う。

延長戦4回終了後面を外し給水処置を行う等の休憩をとる。休憩時間はおよそ4分間とし、4分後までに試合が開始できるように準備する。以後、これを繰り返す。

休憩の場合審判員は一度控え席に下がる。

■注意・連絡事項

1 ◎会場内では、家庭用マスクの着用を推奨する。(個人の判断に任せる)

◎試合時は、シールドまたは面マスクを必着とする。

2 目印の色は、組み合わせ番号の若い方を赤とする。また、校名を大きく記さないものとする。

3 竹刀の規定は以下の通りとし、検量に出すのは**1人2本**までとする。時間外の検量は本部で対応。

長さ=117cm以下 重さ=男子480g以上 女子420g以上

先革=長さ50mm以上 太さ=男子26mm以上 女子25mm以上

ちくとう部直径=先革の先から8cm部分対角方向 男子21mm以上 女子20mm以上

竹刀には校名・氏名を明記すること。模様付鐔(模様不見は可)・滑り止め加工の柄は使用禁止。

掘り・焼印等については竹刀銘・個人名・学校名を認め、それ以外は認めない。

4 黒金縁面、黒塗り面、アイガード面は使用不可。竹刀割れ防止の装着具も不可とする。

5 面紐の長さは結び目から40cm以内にする。

6 団体戦で出場人数に差がある場合、人数の多いチームが出場順を変えずに試合者を決定する(4人对3人の場合も同様)。その際の整列方法および出場順は、不戦の選手を前に置く。なお、不戦勝ちの選手と先に出る試合者2名は面を付けて整列する。

例: 副将を不戦にした場合の並びと出場順は、【副将・先鋒・次鋒・中堅・大将】となる。

7 個人戦、団体戦ともに不戦勝ちの宣告は行う。(団体戦棄権の場合は行わない)

8 選手席は監督、選手のみとする。(個人戦も同様)

監督は背広・ブレザー、ワイシャツ、ネクタイを着用する。時計の持ち込みはできない。

9 外部招聘の監督の場合は外部指導者契約書の提示が必要となる。

10 足袋・サポーターは剣道用のものに限り使用可。届け出は不要。

11 試合の運営の円滑化のため、個人戦の交代時は次試合の選手は直ぐに試合場に入れるように待機しておく。また、団体戦では選手席に入ることよりも相互の礼を優先させる。

12 「A表」(損害賠償保険加入のための報告書)を各校大会終了時に提出するか、翌日までにメールで送信をすること。(東信高体連のホームページ「ダウンロード」から取得可能)

13 選手・監督のビデオ撮影は体育館フロアとする(保護者等は観覧席のみ)。撮影は選手やオフィシャルよりも後方で行う。また、ランプの点灯等、試合者・審判員の邪魔にならないようにする。

14 写真・動画を撮影した場合、その被写体となった選手の了解を得ずネット上にアップすることは、肖像権保護の観点から禁止とする。

■試合場・オフィシャル

本部	
第三試合場	第一試合場
	第二試合場

【オフィシャル担当について】

補助員の振り分けは、大会当日に本部より指示

○男子個人戦・団体戦

上田・上田東・岩村田

上田西・佐久長聖

○女子個人戦・団体戦

上田・上田東・岩村田

上田西・佐久長聖

※状況によって、他校の生徒にも協力をお願いします。

■県大会 日 時 6月6日(金)、7日(土)、8日(日)

場 所 中信(堀金総合体育館)

申し込み 5月23日(金) FAX・Mail可(原本は大会当日)※出来る限りMailにて。

丸子修学館高校 西澤佳志 宛 電話 0268-42-2827 FAX 0268-41-1050

出場資格 男子団体(上位9校)・女子団体(上位7校)、男女個人(上位各8人)

参加料 1名1,000円